

1・宿場町ウォーク

日光道中・奥州道中は、江戸時代の五街道の一つ。粕壁宿は、江戸日本橋から数えて4番目の宿場町でした。かつて松尾芭蕉も歩いたみち。歴史の面影を探しながら歩いてみませんか。



春日部の観光情報はここで
春日部情報発信館

1 「ぶらっとかすかべ」

春日部市の観光・イベント情報などはこちらで入手できます。
9:00～16:30 月曜（月曜が祝日の場合はその翌日）、年末年始

5 松尾芭蕉が泊ったとされる とうようじ 東陽寺

元禄2年(1689)『奥の細道』紀行で、松尾芭蕉は粕壁宿に一泊しました。『曾良(そら)旅日記』からの一文が碑に刻まれています。泊った場所は小淵山観音院(5ページ⑩参照)のほか、諸説あります。



6 日本初の国立薬用植物栽培試験場跡

日本初の国立薬用植物栽培試験場がありました。大正11年(1922)に開設され、昭和55年(1980)につくば市に移転しました。現在は、ミニ薬草園になっています。

7 「粕壁宿」船着き場の目印 いかり 碓神社のイヌグス



推定樹齢600年。この地では珍しい南方系の樹木で県指定の天然記念物。江戸時代には、大落古利根川を通る船にとって下喜蔵河岸(しもきざうかし)を探す目印になっていました。

2 春日部ゆかりの俳人 かとうしゅうぞん 加藤楸邨旧居跡標識



加藤楸邨は日本の現代俳句を代表する俳人の一人。旧制粕壁中学校(現在の春日部高等学校)での教師時代、俳句と出会います。



3 粕壁宿の200分の1の模型 郷土資料館(教育センター内)

江戸時代の粕壁宿推定模型があります。今のまちなみと比較してみてください。
9:00～16:45 月曜(祝日と重なったときは翌日も)、祝日、年末年始



4 夏まつり発祥の地 やきか 八坂神社

八坂神社は牛頭天王社(ごずてんのうしや)とも呼ばれ、粕壁宿の市神(いちがみ)として祀られた神社です。八坂神社の祭礼は、現在の春日部夏まつりの起源です。



9 赤丸ポストが目印 日光道中の道しるべ

旧商家 東屋田村本店前の道しるべ。天保5年(1834)のもので、日光・岩槻・江戸の三方面の方角が刻まれています。



街では、粕壁宿の歴史や時代背景をイラストで再現したシャッターアートも楽しめます



11 彫刻に彩られた橋上公園 古利根公園橋

県鳥シラコバトをデザインした風見鶏に、麦わら帽子をイメージしたアーチ。光と風をテーマにした全長79mの橋上公園です。ここに、千住馬車鉄道がモチーフになったテト馬車のレリーフがあります。千住馬車鉄道は、明治時代に千住茶釜橋-粕壁の最勝院(6ページ⑬参照)間を3時間で結んでいました。



10 江戸時代の面影を残す 土蔵造りの建物

江戸時代、間口が狭く奥行きが長い地割りに沿って、土蔵が連なっていました。

12 粕壁宿の中心地 粕壁宿の案内板

案内板付近は、問屋場(といやば。宿場の業務を行うところ)跡ともいわれています。



13 粕壁大橋といわれた しんまち 新町橋

江戸時代前期には、大橋、粕壁大橋などと呼ばれていました。橋のたもと付近には、船着き場である上喜蔵河岸(かみきざうかし)があり、今も石垣の一部が残っています。



上喜蔵河岸石垣

粕壁宿から 杉戸宿方面への道

14 昔の旅人の目印 小淵一里塚

日本橋から9番目の一里塚。

15 市内最古の道しるべ 小淵の道しるべ

右側の自然石を利用したものは、宝永6年(1709)銘の市内最古の道しるべ。奥州道、関宿道の方向を示しています。

16 松尾芭蕉の句碑がある こぶちやまかんのいん 小淵山観音院

「ものいへは 唇寒し 秋の風」の松尾芭蕉句碑があります。元禄年間(1688～1704)に建てられた仁王門は、市指定有形文化財です。



- 春日部駅 東口
- 1 ぶらっとかすかべ
- 2 加藤楸邨旧居跡標識
- 3 郷土資料館(教育センター内)
- 4 八坂神社
- 5 東陽寺
- 6 国立薬用植物栽培試験場跡
- 7 碓神社のイヌグス
- 8 変電ボックス
- 9 日光道中の道しるべ
- 10 土蔵造りの建物
- 11 古利根公園橋
- 12 粕壁宿の案内板
- 13 新町橋
- 14 小淵一里塚
- 15 小淵の道しるべ
- 16 小淵山観音院
- 北春日部駅

♀バス停 P 駐車場 ♻️ トイレ 🚶 赤ちゃんの駅

距離と所要時間：春日部駅東口まで(約3.4km/約50分) 消費カロリーの目安：男性172kcal 女性142kcal
北春日部駅まで(約5.3km/約1時間19分) 消費カロリーの目安：男性269kcal 女性222kcal